

令和二年度 奈良県知事賞

「自然を支える税」

宇陀市立榛原中学校 三年 濟木 志帆

私が住んでいた村、下北山村は自然豊かな村だ。私はこの村の自然がとても大好きだ。山には、猪や孔雀そして天然記念物のニホンカモシカなど沢山の動物が生息しており、川には、きれいな水を好むカワゲラやヒラタカゲロウなどが生息している。この生き物達を支えている山や森は何に支えられているのだろうか。

小学六年生の頃、私は林業体験をした。木を切ったり山道の整備をしたり色々な体験をさせてもらったが、一番心に残っているのは森林組合の方の言葉だった。

「森林組合の方々がこうして山を整備してくださっているおかげで、このきれいな自然が保たれているのですね。」

と私が言うと、

「確かに私達が山を手入れしているけど、そのためのお金は税金から来ているから、税金のおかげでもあるんだよ。」

私は驚いた。私たちが普段払っている税金は山や森の整備にも使われているなんて知らなかった。そして

「最近では工事などで山や森がなくなってしまっていて、とてもさみしいです。でもその前に君たちに林業体験という自然とのふれ合いをさせてあげられてよかった。」

と。正直、私は虫が苦手なので山に入ることに抵抗があったが、そう言ってもらい私は山がとても好きになった。

中学生になり、私は今の中学校がある街に引っ越した。友達と遊ぶ時はいつもゲームか買い物になっていた。今、私が住んでいる地域では山や自然の遊び場がほとんどなく、小学生の頃のように川に入ったり、山で遊んだり、動物をおいかけてたりすることが出来なくなっていた。そのことから私は沢山の思い出を作らせてくれていた自然にとっても感謝している。そして、その自然を支えてくれている、税金はとても大切なものだと思った。

今、私達の身近ではいろいろな工事が進められている。どの工事でも私達がより安心して安全に暮らせるようにするためらしい。この工事にかかるお金も私達が普段物を買ったりするときには払う税金が使われている。他にも税金は色々な場所で使われていることを、改めて考えることができた。私が大好きな自然を守ってくれていたのは税だ。これからも、この自然を守っていけるように私自身も努力しようと思った。